

## 〔農場紹介〕

## 有限会社 ピッグファーム陳

専務取締役 陳 傑

## 1. 農場所在地

熊本県上益城郡益城町大字上陳458-2

## 2. 農場の概況

当農場は、これまでのコンベ農場を、総事業費の約73%を国・県・町からの助成により、新たにSPF豚農場として新築。平成7年2月に全施設を落成、同年4月から稼働を始め、熊本SPF豚ピラミッドのCM農場として3年目を迎えた。周辺は山林やハウス農家および路地野菜農家に囲まれ、近くには養豚場が皆無な立地条件に恵まれている。

## 3. 経営の概況

## (1) 労働力

構成員数約3名；本人（養豚歴5年）、父（養豚歴35年）、母（養豚歴25年）、常時雇用者1名（叔父）、肉豚出荷トラック専門運転手1名。

## (2) 飼養規模

SPF豚290頭の一貫経営。熊本県農業研究センター（畜産研究所）で生産された「ヒゴサカエ301」を、JA熊本経済連（大津原種豚センター）で「ゼンノーW01」と交配させ、LWとして当農場を含む県内CM3農場に供給している。また、雄豚は「ゼンノーサクラ201」を20頭保有し、年間およそ6,300頭の肉豚（LWD）を出荷している。

## 4. 施設の構造、規模

種豚舎（1棟、765m<sup>2</sup>の自動カーテン式）  
分娩豚舎（1棟、455m<sup>2</sup>の二重自動カーテン式）  
育成豚舎（1棟、458m<sup>2</sup>の二重自動カーテン式）  
肥育豚舎（3棟、2,041m<sup>2</sup>の自動カーテン式）

まず種豚舎は、豚房が縦4列に並んだ構造になっている。次に分娩豚舎は縦2列に並んだ構造になっている。育成豚舎は1豚房に育成豚を20頭ずつ収容。成長の度合いにより、2段階に分けて豚房を替えて飼育するのが特徴である。肥育豚舎は飼育方法においては育成豚舎と同様。また給餌方法はウェットフィーダーによるものである。

その他の施設としては、管理棟（1棟、91m<sup>2</sup>、事務所・シャワー室・脱衣場・倉庫薫蒸庫等）また、エンドレス方式による糞尿処理施設（1棟、1,235m<sup>2</sup>）等がある。さらに種豚舎の隣（エリア内）に焼却炉を設置したことで圧死仔豚や後産の処理が容易にできるようになった。

## 5. 出荷方法

出荷方法としては、エリア内にある肉豚出荷口にまず場内専用トラックを横付けし、肉豚を積み込む。その後、場内専用トラックを出荷口からエリア外に設けた出荷台まで移動させ、そこで場外専用トラックに間接的に積み替える。この出荷台は出荷口から約150mほど離れた場所にある。さらに積み替えが終わると、肉豚出荷トラック専門運転手と交代して、県内の畜産流通センターまで

運搬する。

## 6. 農場成績

当農場における成績については、表1・2に示したとおりである。全体的に見て、成績は繁殖部門・肥育部門とも登り調子にあり、平成9年度はこれらの成績をさらに上回るものと期待される。

また、出荷肉豚1頭あたりの薬品費は、認定規則の規制対象薬品費127円、規制対象外薬品費が626円となっている。

## 7. 肉豚販売

豚肉はJA熊本経済連を経由して販売され、県内で契約されているスーパーなどでは熊本SPF豚をアピールするためのパネル展示とともに、商品にはそれを証明するためのシールが貼付され、各々販売されている。

## 8. 今後の課題

- (1) 2回目の交配時におけるAIの利用。
  - (2) より正確な飼料要求率を算出するためのトラックスケールの設置。
  - (3) 母豚1腹あたりの年間出荷頭数の増頭。
- 以上3つのことを考慮していきたいと思う。

表1 繁殖部門 (平成8年度実績)

|              |         |
|--------------|---------|
| 分娩間隔 (初産を除く) | 149.20日 |
| 分娩回転率        | 2.45回   |
| 分娩率          | 93.6%   |
| 1腹当たり産子数     | 11.18頭  |
| 1腹当たり正常産子数   | 11.26頭  |
| 1腹当たり離乳頭数    | 9.75頭   |
| 離乳時育成率       | 95.4%   |
| 年間1母豚当たり離乳頭数 | 22.33頭  |
| 年間1母豚当たり出荷頭数 | 21.66頭  |

表2 肥育部門 (平成8年度実績)

|               |           |
|---------------|-----------|
| 平均出荷体重        | 111.9kg   |
| 平均枝肉重量        | 73.8kg    |
| 枝肉歩留          | 66.0%     |
| 平均出荷日齢        | 172.6日    |
| 生時～出荷 1日平均増体重 | 648g      |
| 上物率           | 73.5%     |
| 平均枝肉単価        | 453円      |
| 豚1頭当たり販売価格    | 35,777.4円 |
| 離乳～出荷までの事故率   | 3.0%      |
| 農場飼料要求率       | 3.15      |
| 肉豚死亡淘汰率       | 1.15      |